

# スマイルタイムズ

No, 251

## おたふくかぜで難聴

NHK かぶん(科学・文化部) ぶろぐ

NHK が 1 月 29 日にネットで配信した医療関係の啓蒙情報を再録します。お子さんをお持ちのお母さん方に役立つ情報です。

こどもを中心に流行し、難聴になる危険性があるおたふくかぜについて、日本耳鼻咽喉科学会は難聴になった人数や症状の重さなど、実態を具体的に把握して国に対策を促していくことにしました。

おたふくかぜ(流行性耳下腺炎)は子供中心に流行し、発熱や耳の下の腫れを引き起こすウイルス性の感染症で 1000 人に 1 人ほどの割合で難聴になると言われていますが詳しい実態は分かっていません。

そこで、来月から耳鼻科のある全国すべて凡そ 8000 の医療機関を通じ患者の年齢や性別、難聴の程度、聞こえないのは右か左か両方か、どのような処置をしたか、などを具的に調べます。そして、ワクチン接種が「現在のまま」でいいのか、国に検討を求めます。

現在のままとは、このワクチンを接種することで、副作用の「無菌性髄膜炎」が相次いで報告されたため、平成 5 年、定期接種から外されたままになっているのです。

そこで、現在は任意になっており、接種しているこどもは 5~6 割程度と言われております。おたふくかぜで難聴になることが社会的に十分認識されていないのではないかとのもあります。一度、難聴になると回復は非常に難しいので、副作用を恐れるか、難聴を恐れるか、難しい選択になります。

東京都内の小学 2 年の N ちゃんは年長の時におたふくかぜに罹って数日後に難聴になりました。左右両方の耳が全く聞こえなくなり、回復は見込めないという診断を受けました。現在は右耳につけた小型マイクから音声を電気信号に変え、直接脳に送り込む、人口内耳と呼ばれる装置を埋め込んで、周りの声や音を認識しています。しかし、装置を付けていても通学路で近づく車に気づきにくいほか、騒がしい場所では話が聞きづらく、学校の授業を補う家庭教師も頼んでいます。

母親の M さんはおたふくかぜで難聴になることを知らずに予防接種をしなかったことを後悔し続けています、と語っています。

おたふくかぜはムンプスウイルスが原因の感染症で、主に咳などによる飛沫で感染します。患者の多くはこどもでも通常 1~2 週間で症状は改善しますが、先述した 0.1

平成 29(2017)年 2 月 27 日(月)発行  
発行者 小浜市多田 2-2 -1 中山クリニック 院長 中山茂樹  
<http://www.nakayama-clinic.jp>

- ： インターネットでこの「スマイルタイムズ」をお読みにしたり
- ： い方は「中山クリニック 小浜」で検索の上、そのホームページの左側の「院長挨拶」「総合案内」などの選択
- ： 項目 8 個ある中の「スマイルタイムズ」をクリックして下さい。
- ： バックナンバーの平成 8 年 4 月 10 日付(創刊号)から、
- ： 前号の平成 29 年 1 月 23 日付(250 号)までをお読みいただけます。



%ほどのお子さんを難聴にします。このウイルスは耳の奥にある内耳にダメージを与え、鼓膜で聞く音を電気信号に変換しなくなるのです。

国立感染症研究所によるとおたふくかぜは 4 年から 5 年の周期で大きな流行を繰り返す傾向にあるということで、罹患者は 6 歳未満が大半です。ここ 20 数年の最高は平成 13 年の 25 万人余り、28 年は 15 万 9000 人ほどと報告されています。

### 今年から薬価、毎年改定です

今まで 2 年ごとに改定されていた薬の公定価格(薬価)が今年から毎年改定されることとなります。高額な新型がん治療薬「オプジーボ」(当紙の No.248 号 平成 28 年 11 月 28 日付に「新薬の値下げ」で記載しました)の緊急値下げを受け、ほかの薬も改定の機会を増やす狙いがあります。

それには 16000 種類もある保険が適用されるすべての薬を対象にするのか、対象を絞るのかの問題が残ります。販売が当初の予想より急増したり、競合品や後発品が多く出た場合など、別に難しい問題が起こりますが、厚労省にとっては「コペルニクス的転回」と捉えているようです。何せ、患者 1 人年間 3500 万円かかるオプジーボがきっかけとか(これを当紙 No.248 号が取り上げたのです)。

《あ と が き》2 月 10 日(金)の夕方から降った雪は 11 日にも降り続け、80 センチを超えました。TV などでも報道され、小浜が全国的に知られました。でも 12 日には打ち止め。ありがたいことでした。1, 2 メートルも降り続け(地方の人の苦労がしのべれます)。